

# 地域を創造するNPO 頼れるふるさとネット通信

2013.8.15 №5

発行者 特定非営利活動法人頼れるふるさとネット  
〒794-2506 愛媛県越智郡上島町下弓削 515  
☎&Fax 0897-72-9188 (事務局 / やよみ亭・古川)  
090-8247-5279 (事務局留守番携帯・平山)  
0897-77-3072 (第2事務所/平山)  
メール k-jitikenkyuukai@amber.plala.or.jp  
ホームページ http://tayofuru.net/



【写真説明】  
向かって左からNPO法人事務局  
古川優哉 (常勤職員・生名島在住)  
ミサゴ・ハヤブサ実態調査員  
滝田一郎 (業務委託・江田島市在住)  
「創作活動拠点プログラム」応募者  
小崎基広 (上島町・やよみ亭在住)

## 残暑お見舞い申し上げます

特定非営利活動法人（NPO）「頼れるふるさとネット」は、平成23年4月20日認証以来様々な活動をしてきました。

それら活動は、このNPOの設立由来により地域の住民自治活動に対しての支援、共催等が主なものになっています。

住民自治とは地域住民が地域の安心や安全を目指して自ら汗してする活動ととらえ、共同体に寄与できることを目指しています。

交通弱者対策に係る活動、子どもと自然との距離を縮める活動、移住、定住促進を目指す活動、エネルギー自給啓発活動、観光誘致につなげる活動などのほか、地域資源の再確認、再発見も含め、将来に残せる仕組みづくりを目指しているところです。

NPOは行政が素早く対応しづらい隙間を民間が埋めてゆく仕掛けであると認識しています。基本的には非営利が旨であり、収益を生む活動では収益が法人の運営に廻されるなら非課税という法的優遇措置もあります。所轄官庁に対しては普通の会社並みの事務手続きなどを含めた報告義務があります。

活動の原資は主として法人自己資金によるものから、主として各種補助金の活用など、団体によって様々です。「頼れるふるさとネット」は前者の部類です。

実質高齢化率4割になんなんとするわが上島町では、こうした民間発の活動の担い手、あるいは発心が、若者ではなく高齢者やリタイア組から立ち上るのは、在り方としては自然かもしれません。その一方で活動の持続という点では課題があるのではないかと感じるところです。

いずれにしろ活動の実効性を高めるためには行政との協働も必要です。行政側の姿

勢次第ではどの団体であれ活動が枯れてゆく可能性は低くありません。

NPO法の改正をみても前政権の「新しい公共」というかけ声を順風にしてきた部分と、再びの政権交代でその「新しい公共」政策が見直されようとしている現実とあります。それが今後どのように民間団体の活動に影響を及ぼすのかは不透明です。

我が町は人口7,500人余ですが町内には

9団体のNPO法人があります。これは素晴らしい数だと思います。町が島で構成されているところから、住民の独立（自治）意識の高さと見る事もできます。我々も設立趣旨に添ったよりよい活動を目指して参ります。変わらぬご支援、ご指導、ご鞭撻のほどお願ひいたします。

なお「NPO頼れるふるさとネット」結成以来の主な活動と、これから予定は別表のとおりです。

## 多様なNPOの存在は、住民自治力の現れです。

### 【平成23年4月】 「頼れるふるさとネット」設立

### 【平成23年6月】

写真家村上宏治氏のアフリカブルキナファソ・エイズ取材協力。町内の写真家も同行。

### 【平成23年9月】

尾道直行便（瀬戸内クルージング）の弓削・尾道全線復活支援。

### 【平成23年9月】

弓削能プロジェクト協賛。開催資金協力。

### 【平成24年1月～4月】

尾道直行便運行支援。運航費の一部補助。

### 【平成24年2月～】

活動拠点に4.2kw/hの太陽光パネル設置。発電量と売電量を日々書き出して情報提供。

### 【平成24年3月】

有害獣駆除にもうなう猪肉產品化へむけての肉質アップ技能伝習講習会。試食会。料理開発。弓削猪捕獲隊および「尾道とこぶし食道」と共催。

### 【平成24年4月】

写真家村上宏治氏による屋外写真展（弓削島松原）共催。同時に尾道航路での集客を図る。洋画家高須賀優氏による「創作活動拠点プログラム」実施。画材費・住居提供協力。

### 【平成24年5月～】

地域の高齢者交流活動「出よう会」開始。毎月2回。

### 【平成24年11月～】

福山村上アーカイブス、瀬戸田蓼原農園との共働プログラム「蒼いミカンの愛恋歌シリーズ商品開発に出資。将来的には上島町の蒼いミカンを原料として提供を図る。（農家の省力化による耕作放棄防止、移住者による就農選択肢の創出）

### 【平成25年4月～】

映像作家小崎基広氏による「創作活動拠点プログラム」実施。住居および生活支援。

### 【平成25年4月～】

町内のミサゴ・ハヤブサ実態調査委託。絶滅危惧種ハヤブサと準危惧種ミサゴの繁殖が弓削島

で確認された事を受け、通年実態調査を専門家に委託。成果はビジター誘致および適正な開発のための資料に供する予定。

### 【平成25年8月～】

小規模多機能型高齢者福祉施設のリニューアル支援。（弓削）

### 【他に常勤職員による活動】

- ・空き家情報収集と移住協力。
- ・耕作放棄地対策試案として麦栽培実験及びトラスト事業。
- ・「ワンコイン超簡単パソコン教室」（有料・1時間500円）
- ・商船高専生と地域住民との交流企画。（元船員による講演。過去5回実施）
- ・自然観察会開催（かみじま自然学校・過去3回実施）



## ご近所物語



安藤朋生  
茨城県

わが町真壁の町にもやつと、やつと、よーやつと素敵カフェが登場致しました！まさかこんなに素敵な本当のカフェがオープンするなんて、まこと夢の様。それはそれは大変嬉しい、時間とお財布の都合が合えば出向い

てしまう。もう少し遅くまで営業していくほしいのが希望だけど。

うーんと子供の頃、両親に連れられ行った隣町の喫茶店。夜はお酒も出したらしいその店は駅前にあったが、今はもうない。駅までの通りには、お肉屋さんやパン屋さん、サンドウイッチを出す喫茶店に本屋さんもあつたが、それらも今やどこにもない。大通りの開発とともに移転

したり、その時に閉めてしまつたり、古き良き時代が一つづつ消えた。消えた時期もまだ子供だったが、おばあちゃんと食べた揚げたてのコロッケやアメリ

カンドックを、美味しいねと笑って帰ることももうないのだ。駅前の小さな商店街はロータリーに変わった。大自然と大地の恵みはどこかアンバランスで、田舎の割に野菜は高いし、お祭り事のたび駐車場代を取るとか

少々せこい。田舎にはそういう偏屈な一面がある。

さて、真壁の素敵カフェ『橋本珈琲』でエスプレッソミルクがけかき氷を美味しい美味しいと食べている最中、瀬戸内国際芸術祭のことを思った。これはもう行かねばなるまい。大切な良き思い出として、また1つ心に残しておきたい。展示ひとつにしてもそうだ。知つて知らないふりなど寂しい。

ここは偏屈でなく素直な感情で行って観たい所である。



⑦

